

表紙の写真

これまで表紙で紹介してきた岩石や動植物を、カラー写真で改めてご紹介します。

※アングルが異なる写真もあります。



No. 2 象ヶ鼻の緑色岩

寄居町藤田の荒川左岸に面した御荷鉢(みかぶ)緑色岩類からなる大きな岩です。



No. 3 長瀨岩畳に咲くユキヤナギ

ユキヤナギは増水時、冠水による攪乱を受けやすい場所に多くみられます。



No. 5 長瀨でも増えている外来鳥 ガビチョウ

特定外来生物に指定されています。関東地方ではここ10年急増しています。



No. 6 クリハラン再発見

埼玉県では絶滅したとされていたクリハランの育成が確認されました。



No. 7 アズマヒキガエルの包接集団

5月初旬の秩父山地で5m四方ほどの水溜りに50ペア近くが集まっていました。



No. 8 博物館の庭に発生した ツクツクボウシタケ

ツクツクボウシなどの幼虫に寄生する冬虫夏草。40株以上発生していました。



No. 9 青岩礫岩

大部分の礫が緑色片岩の角礫からなる青岩礫岩。県・天然記念物に指定されました。



No. 10 秩父鉱山産の硫砒鉄鉱

秩父鉱山の硫砒鉄鉱は、典型的な菱形中柱の美しい結晶形をしています。



No. 12 セアカゴケグモ

阪神地方を中心に分布を拡大する外来の毒グモ。埼玉県では未発見です。



No. 15 皆野町親鼻の 紅簾石片岩とポットホール

「ジオパーク秩父」のジオサイトのひとつ。地元の方の清掃で内部がきれいに。



No. 16 山のチョウと 特定外来植物の出会い

利根河川敷に繁茂するミズヒマワリに誘因され平野部でもアサギマダラが出現。



No. 19 カジカエデ

日本固有種のカジカエデ。秩父の山から「カエデの森」に移植した個体が無事大きな葉を広げました。